

「COVID-19」研究会

総合人文科学研究センター研究部門
「COVID-19 を経験した社会の人文學」

2025 年度第 4 回研究会

コロナ禍における県人寮を契機にその意義を考える

日時：2026 年 3 月 16 日(月) 18:00 ~ 19:30

方法：Zoom を使用したオンライン開催

報告者：遠藤 健

(本学招聘研究員

東京大学大学院情報学環・学際情報学府)

本報告は、コロナ禍における県人寮の実態を整理し、県人寮のこれまでの役割と今後の在り方について検討するものです。県人寮とは、同郷の学生が同一施設で共同生活を送る学生寮であり、コロナ禍においては三密が避けにくい生活環境であること、さらに各大学でリモート授業が導入されたことにより、その運営は大きな影響を受けました。本報告では、これらの影響を踏まえ、コロナ禍を契機として県人寮の意義や機能を再評価します。

付記：この研究会は公開で行われますので、どなたにもご参加いただけます。研究部門にご所属でない方は、3月15日（日）までに阿比留久美研究室に参加希望をメールでお伝えください。URLをお届けいたします。
連絡先：阿比留久美研究室 (abiru93@waseda.jp)